

2050年

カーボンニュートラルシティこおりやまの 実現に向けて



郡山市

令和5（2023年）3月20日
郡山青年会議所 講演会資料

郡山市公会堂 施設概要

- ◆ **大正13年（1924）に市制施行を記念し建造。**
国会議事堂を設計した矢橋賢吉が監修し、オランダ・ハーグの平和宮等を参考に設計されたと伝わる。
- ◆ 平成14年（2002）に**国の有形文化財**に登録。
平成29年（2017）には**日本遺産「未来を拓いた『一本の水路』」の構成文化財**として追加認定。
- ◆ 平成16年（2004）に外観の復元に重点を置いた大規模改修、平成30年（2018）には構造補強改修を行い、LED照明を取り入れるなどリニューアルをして、より安全で使いやすいよう設備を整備。
- ◆ 大正ロマンの香り漂うルネサンス調の洋館が魅力。郡山市のシンボルとして親しまれ、現在でもコンサートなどに利用されている。

<主な変革>

2002（平成14）年	国登録有形文化財指定
2003（平成15）年	耐震診断調査
2004（平成16）年	大規模改修工事
2017（平成29）年	日本遺産「未来を拓いた『一本の水路』」の構成文化財として追加認定
2017（平成29）年 ～2018（平成30）年	2階客席部分構造補強改修工事実施 ⇒客席数 336席（1階200席、2階136席）
2018（平成30）年	LED照明設置工事





こおりやま6大ブランド

SDGs未来都市 こおりやま



2019年7月1日
「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」に選定され、こおりやま広域圏の自治体とともに“健康”をキーワードとした全世代健康都市圏を目指す。

こおりやま広域圏 koriyama collaborative core urban area



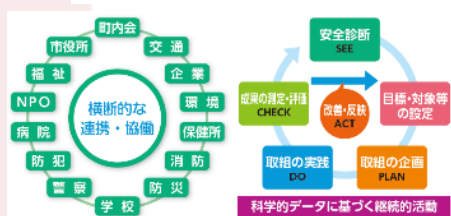
2019年1月23日
近隣15市町村と連携協約を締結
2019年3月19日
都市圏ビジョンを策定・公表
「広め合う・高め合う・助け合う」広域圏の創生を目指す
⇒現在は二本松市、磐梯町と連携協約を締結し17市町村



セーフコミュニティ国際認証取得

2018年2月2日
セーフコミュニティ(※)国際認証取得
日本で15番目(東北で2番目、福島県で初)、世界で391番目

※データからけがや事故の原因を究明し、地域が一体となり安全・安心なまちづくりに取り組む地域のこと。



日本遺産認定



JAPAN HERITAGE
日本遺産

2016年4月25日
近代郡山発展の礎となった「猪苗代湖」「安積疏水」「安積開拓」を結ぶストーリーが日本遺産に認定

未来を拓いた「一本の水路」
—大久保利通“最期の夢”と
開拓者の軌跡 郡山・猪苗代—

ドイツ エッセン市との覚書締結

Partnership
Essen - Koriyama



2017年12月1日
ドイツ連邦共和国ノルトライン-ヴェストファーレン州エッセン市と都市間協力に関する覚書を締結
両都市で産業分野を中心に連携を図っている。

世界かんがい施設遺産



ICID・CIID
世界かんがい施設遺産

2016年11月8日
歴史的・技術的・社会的価値のある施設を保全し、地域づくりに生かすことを目的とするかんがい施設として「安積疏水」が登録

手挙げ方式による主なモデル事業等

	施策名	施策概要	担当省庁等	備考	想定担当課
1	地方創生に向けた自治体SDGs推進事業	自治体によるSDGsの達成に向けた取組を公募し、優れた取組を提案する都市・地域を「SDGs未来都市」として選定するとともに、先導的な取組については、「自治体SDGsモデル事業」として資金的に支援する。 【事業費：上限2千万円の1/2、普及啓発費：上限2千万円】	内閣府地方創生推進事務局	2018年から実施 2019.3.5 応募済	政策開発課
2	スーパーシティ (国家戦略特区)	AI及びビッグデータを活用し、社会のあり方を根本から変えるような都市設計の動きが国際的に進展しており、第四次産業革命を先行的に体現し、革新的な暮らしやすさを実現する最先端都市となる「スーパーシティ」構想を実現する。 【必要なインフラ整備は国主導】	内閣府地方創生推進事務局	2019.4.17 特区会議で法案了承 →国会提出へ 夏以降にエリア公募、選定予定	政策開発課 DX推進課 都市政策課
3	ICTスマートシティ整備推進事業	地域が抱える様々な課題の解決や地域活性化・地方創生を目的として、防災、医療・健康、観光等各分野における成功モデルの普及展開を推進するとともに、ICTを活用した分野横断的なスマートシティ型のまちづくりを推進する。 2020年度までに20地区程度を選定予定。 2017年度6地区、2018年度3地区選定) 【補助率：1/2、2019年度予算：1.7億円、想定件数：5件】	総務省 情報流通行政局	2017年から実施 (会津若松市2017採択) 例年5月頃公募見込み	DX推進課
4	地方再生コンパクトシティ	人口減少、地域経済の縮小等の課題に直面するなか、国土交通省と内閣府が連携し、地域活力の再生、まちの賑わいの創出等に積極的に取り組もうとする自治体を30か所程度選定し、ハード・ソフト両面から総合的かつ集中的に支援を行う。(3年間) 【社会資本整備総合交付金、地方創生推進交付金】	内閣府地方創生推進事務局 国土交通省都市局	2018.3 に32都市を選定 (須賀川市等) 今年度新たなモデル都市募集なし	都市政策課
5	スマートシティの実現に向けたモデル事業	国土交通省では、内閣府等の関係省庁と一体となって、関係団体、企業、自治体等と連携し、移動・物流、インフラ、防災・気象、エネルギー・環境、観光等の分野を対象に、アーキテクチャーを構築し、都市・地域問題、社会問題に係るソリューションシステムを実装するモデル事業を2019年春から実施予定 【まちづくり関連予算等による支援】	国土交通省都市局	ニーズ提案： 2019.1.25 〆61 団体提案) モデル事業公募： 2019.4.24 〆	都市政策課



2019年7月1日、県内で初めて郡山市が「SDGs 未来都市」に選ばれました。

- ◆ 「SDGs 未来都市」として全国から31都市が選ばれ、県内で初めて郡山市が選定されました。
- ◆ さらに、その31都市のうち、特に先導的な取り組みを「自治体SDGsモデル事業」として10事業が選ばれ、郡山市は東北で初めてモデル事業にも選ばれました（2020年度時点：2都市/郡山市：石巻市）。

2018年度：29都市、2019年度：31都市、2020年度：33都市 **計93都市選定**
 ⇒東北からはこれまで、9都市選定（東松島市、仙北市、飯豊町、陸前高田市、郡山市、岩手町、仙台市、石巻市、鶴岡市）

2019年度SDGs未来都市選定都市一覧
 （★マークは自治体SDGsモデル事業に選定）



2019年度「SDGs未来都市」選定証授与式 2019年7月1日
 ※中央が品川市長

- | | |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 福島県郡山市★
神奈川県小田原市★
新潟県見附市★
富山県南砺市★
福井県鯖江市★
京都府舞鶴市★
岡山県西粟倉村★
熊本県熊本市★
鹿児島県大崎町★
沖縄県恩納村★
岩手県陸前高田市
栃木県宇都宮市
群馬県みなかみ町
埼玉県さいたま市
東京都日野市
神奈川県川崎市 | 富山県
石川県小松市
愛知県
愛知県名古屋市
愛知県豊橋市
滋賀県
奈良県生駒市
奈良県三郷町
奈良県広陵町
和歌山県和歌山市
鳥取県智頭町
鳥取県日南町
福岡県大牟田市
福岡県福津市
鹿児島県徳之島町
計31都市 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|



「健康」をキーワードに「経済」、「社会」、「環境」において、持続可能なまちづくりに向けた先導的取組を実施。オープンデータを活用した広域医療等の分析（EBPM）及びICTを活用した健康寿命延伸対策（EBM）を進めることで医療・健康産業の集積、健康寿命延伸・医療費抑制、環境負荷の少ない快適な生活環境の確保等を進める。

<取組課題>
医療・健康産業の集積・振興
 ～医工連携を核とした先進産業都市～

<取組課題>
健康寿命の延伸、医療費の抑制
 ～みんなが健康、みんなが担い手～

三側面をつなぐ統合的取組
「知の結节点」こおりやま
「全世代健康都市圏」創造事業

経済

3 すべての人に健康と福祉を
 8 働きがいも経済成長も
 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
 17 パートナシップで目標を達成しよう

産業
 ● 産業イノベーション事業（産官学金労言士の連携コーディネート、医工連携事業化コンサルティング）
 ● 多彩な市民とともに歩む新たな農業プロジェクト事業（アグリテック、農福連携）

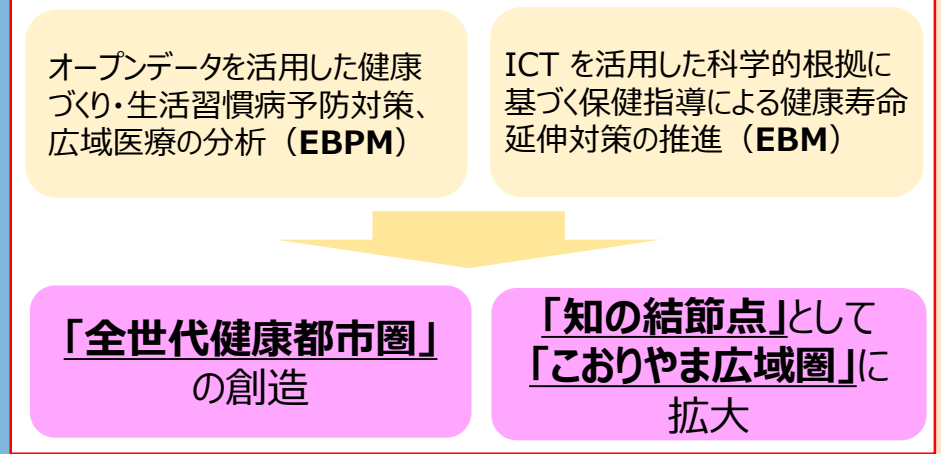
農業

社会

3 すべての人に健康と福祉を
 8 働きがいも経済成長も
 17 パートナシップで目標を達成しよう

医療・健康
 ● 保健所と地域が一体となった健康推進
 ● 産医官連携によるがん検診の受診促進、糖尿病対策
 ● 簡易型自記式食事歴法質問票による実態調査・分析
 ● 科学的知見に基づき、プロが指導するスポーツを通じた健康づくり

スポーツ



国の「デジタル田園都市国家構想」
 に呼応した
 先駆的・戦略的なDXの実装



ふくしま医療機器開発支援センター



国立環境研究所福島支部



産総研 福島再生可能エネルギー研究所

環境



11 住み続けられるまちづくりを
 12 つくも責任 つかう責任
 13 気候変動に具体的な対策を
 17 パートナシップで目標を達成しよう

温暖化対策
エネルギー
環境学習

- 地球温暖化対策事業
- エネルギー地産地消推進事業
- 既存施設を活用した体感型環境学習施設の充実

<取組課題>
環境負荷の少ない快適な生活環境の確保
 ～良好な環境は成長・発展の源泉～

2019年10月 令和元年東日本台風による被害

-  台風第19号が2019年10月12日(土)午後から13日(日)未明にかけて本市へ接近・通過
-  台風第19号により、こおりやま圏域を流れる一級河川 阿武隈川や支川の決壊や氾濫、各地での土砂災害、猛烈な暴風雨による家屋損壊等、極めて深刻な被害が広範囲で発生

⇒ 気候変動対応の重要性(SDGs)



【こおりやま広域圏域】

■ 郡山市の上流部にあたる白河市や須賀川市で観測史上1位の降水量を記録

【こおりやま広域圏被害状況】



①【阿武隈川(本宮市内)】



②【阿武隈川(須賀川市内)】



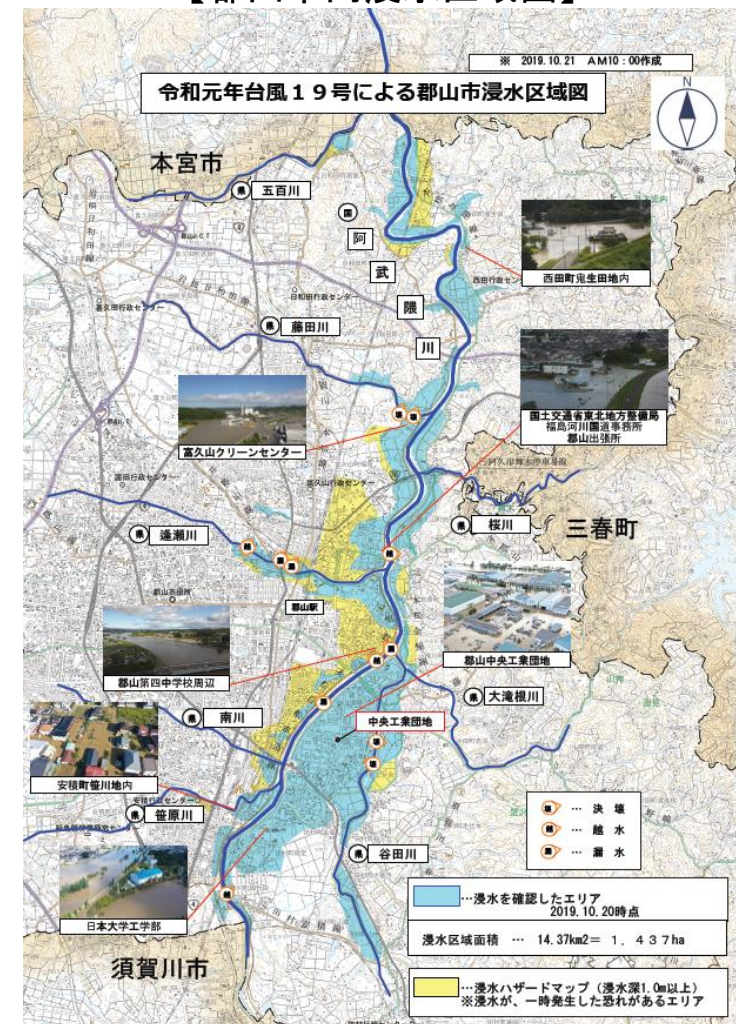
③【阿武隈川(鏡石町内)】



【本宮市内での自衛隊による救助活動】本宮市提供


①～③出典: 国土地理院ウェブサイト
2019.10.13撮影


【郡山市内浸水区域図】



■ 浸水区域 ■ 浸水ハザードマップ

■ 平時からの災害に対する備え (産学金官労言士による連携で)


 令和元年台風第19号災害を踏まえ、「気候変動」を前提とした社会システムへの変更


 『気候変動対応型SDGs未来都市』の実現
 ⇒ 法制・税制・財制、全ての制度設計を「気候変動対応型」に



市民は「防災さんぽ」で平素の備え
 (公益社団法人ACジャパン)

■2019年11月28日 「2050年 二酸化炭素排出量実質ゼロ」を宣言

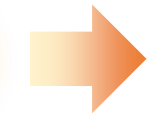
温室効果ガスの増加

化石燃料使用による
二酸化炭素の排出など



気候要素の変化

気温上昇
降雨パターンの変化
海面水位上昇など



温暖化による影響

自然社会への影響
人間社会への影響

「今のペースで温室効果ガスが排出され続けるならば、地球温暖化は、あらゆる分野において破壊的な影響を及ぼす。」



「2050年 二酸化炭素排出量実質ゼロ」表明

環境省では、2050年に温室効果ガス又はCO2の排出量を実質ゼロにすることを目指す旨を表明した地方公共団体を「ゼロカーボンシティ」として位置づけています。



脱炭素社会の実現とSDGs未来都市としての取組みを加速化

■積極的な情報発信

◆地方創生SDGs国際フォーラム2020に登壇

- SDGs達成に向けた本市の取組みを世界に情報発信
- 地方都市が進めるべき課題や気候変動についてパネルディスカッションを行う

【日時】 2020年1月10日（金）

【場所】 日経ホール（東京）

【概要】

- 東日本大震災や令和元年台風第19号被害を踏まえ、「気候変動を前提とした社会システムへの変更の重要性」について意見を述べる。
- 「デジタル技術を活かした災害対策の必要性」や「知恵の交換による都市間連携の推進」について意見交換を行う



◆東北SDGs未来都市サミットに参加

- 東北地方の未来都市5都市が「東北SDGs未来都市サミット宣言」を採択
- 地球温暖化防止に取り組む「気候非常事態宣言」を採択

【日時】 2020年1月16日（木）

【場所】 角館交流センター（秋田県仙北市）

【東北SDGs未来都市サミット宣言】

OSDGsの理念普及や達成に向けて緊密に連携

【気候非常事態宣言】

- 4Rの推進（Reduce, Reuse, Recycle, Refuse）
- 再生可能エネルギーの利用促進
- エシカル（倫理的）消費の普及
- 地球温暖化の防止



別紙 令和5年度 当初予算の概要

～Carbon Neutral City Koriyamaを目指して～

冬



春



秋



夏



ご清聴ありがとうございました。